

事例
研究高齢者の活躍が
企業の未来を切り拓く

少子高齢化に伴う労働力人口の減少は、企業の人材不足を招く大きな問題となっています。本紙では、高齢者の積極的な採用により、問題解決に向けて取り組まれている企業をご紹介します。本事例を足掛かりとして、高齢者を活用した人材確保にお役立てください。

社会経験が豊富なシニアだからこそ
任せられることができる

オフィスに入った瞬間、驚いた。取材に訪れたわたしたちにデスクに座っていたスタッフ全員が立ち上がり、挨拶をしてくれたのだ。

北日本警備株式会社 取締役 営業部長 中嶋伸一さんに伺った。「来客時には全員、起立して挨拶するように教えているんですか?」、「いいえ、隊員(警備員)が現場から帰ってきたときなど、オフィスに入ってくるときに、全員で挨拶することを決めているんです」。隊員を出迎える挨拶が、わたしたちのような訪問者にも自然に行われているということなのだ。「隊員あってのわれわれですからね」と話す様子から、隊員をとっても大切に扱っていることがよくわかる。

同社の従業員は約120名、そのうちの3割がシニア世代。「今後もいっそう積極的にシニアを採用していく」と、中嶋さんは話す。「シニアを採用し始めたころは若干の違和感があったのですが、今はむしろシニアの方たちから教えられることが多くて……。警備の現場、特に弊社でもっとも多い建

すべて、「守る」ことが事業の柱
北日本警備株式会社

築現場の仕事では、歩行者の方、近隣住民の方たちとのコミュニケーションが欠かせないんです。建築現場の監督は『現場の顔は警備員だ』と言うんです。大型車両や重機が入りする建築現場では、歩行者や近隣住民からのクレームが起こることもありますが、現場の警備員がしっかりしていると、クレームにはならないんです。

長年の社会経験で得た知恵や知識を活かしたシニアならではの、ということなのだろう。『次の現場でもこの人に警備を任せたい』という取引先からのリクエストもよくあるそうだ。

従業員を全力でバックアップ
だから「安心して働ける」

今年73歳になった寒河江武志さんに、話を伺った。寒河江さんは、同社に入社して半年。前職はタクシードライバーだったと言う。「コロナ禍で、繁華街から人が消えるし、イベントもぱったりなくなって仕事にならなくなった」と話す。

いまの仕事は、コロナの影響はほとんどないから仕事がなくならないことはないし、なによりも「スタッフが最高」と



写真左) 北日本警備株式会社 本社の外観。

写真中) 施設警備、交通誘導警備などがコア事業。写真はドーム・イベントの警備。

写真右) 社会貢献事業として、取引の有無を問わず、希望する企業等にAED講習も実施している。

北日本警備株式会社
概要
(2021年8月現在)

【会社名】北日本警備株式会社(トスネットグループ)
【親会社】株式会社トスネット(東証ジャスダック上場)
【設立】昭和45年12月
令和元年7月、株式会社トスネット子会社となる

【資本金】1600万円
【本社】札幌市白石区中央1条3丁目1番33号 石野ビル
【事業所】札幌営業所、江別営業所、北広島営業所
【事業内容】警備業、AED・防犯用品・スーパーアルカリイオン水販売

【社員数】120名

寒河江さんは話す。冒頭で紹介したように、隊員を第一に考えている職場だから、安心して働ける。また、若い人とも協力しあった「チームワークの仕事も楽しい」とのこと。「あと、5年くらいは働こうかな」と言う寒河江さんに「5年だなんて。寒河江さんに辞められたら困ります。そんなこと言わないでください」と中嶋さん。

働く意欲のあるシニア世代の方たちへのひと言を、中嶋さんに伺った。

「いまの60代、70代の人はずっと元気でバイタリティがあります。どんどん外に出て働いていただきたいと思います。警備業はつらいこともあるかもしれませんが。でもわたしたちは全面的にサポートしますよ」。

同社では春、小学校の通学路の見守りのボランティアをしている。入学したばかりで、通学に慣れていない子どもたちを守るためだ。また、希望する企業等には取引の有無を問わず、AEDの講習を無料で実施している。現場を守り、従業員を守り、地域の小さな命を守る。シニアが活躍する地域の警備会社が守っているものは沢山あるようだ。



取締役 営業部長
中嶋伸一さん
現場を約3年経験していて、夏に現場で熱中症になった経験もある。「だから、夏には現場を巡回し、給水を欠かさないように注意しています」



寒河江武志さん(73歳)
タクシードライバーから転職。「いまの職場はスタッフがいろいろと配慮してくれるので、安心して働くことができます」

社労士からひとこと!



社会保険労務士・
キャリアコンサルタント
産業カウンセラー

小嶋 亜希子 さん

やる気のある「好齢者」を活用しよう!

日本の少子高齢化は思った以上に早く進んでいます。シニアという言葉は一般的に60歳以降を示しますが、今の60歳は本当にお若い! シニア層を活用しないと、日本社会をまわすことはできません。2050年(約30年後)には、一般的に言われる「働き盛り」の人口は約50%まで減ってしまいます。積極的にシニア層を

活用することで、企業の生き残りにも関わってきます。シニア層の「働き続けたい理由」の約半数の方は「お金のため」ですが、それ以外の約45%の方は「社会と関わりをもっていたい」、「自己実現をしたい」と回答なさっています。

やる気のある高齢者を「好齢者」としてお互いハッピーでいたいですね。

高齢者雇用の求人募集は【就サポ】へ!

お申し込み・お問い合わせ

札幌で就活なら
就サポ 札幌市就業
サポートセンター

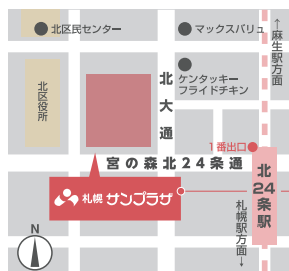
求人開拓室

☎ 011-708-7865

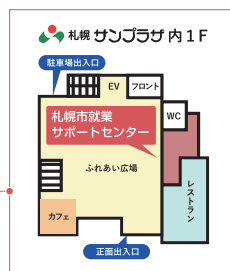
☎ 011-716-6811

《受付時間》平日8:45~17:00(土・日・祝日・年末年始除く)

就サポサービス情報サイト <http://saposen.co.jp/>



札幌市北区北24条西5丁目 札幌サンプラザ1階 地下鉄南北線「北24条駅」1番出口より徒歩3分



さっぽろ市
02-H03-21-1639
R3-2-1103

札幌市就業サポートセンターでは、札幌市が委託する民間職業紹介事業者とハローワークが共同で無料の職業紹介サービスを行っている全国で唯一の官民共同窓口です。職業紹介やカウンセリング、セミナーなどを組み合わせた多様な就労支援サービスを提供しております。